

作成日： 2026年2月12日（第1版）

西暦2014年6月から2022年2月までに

網膜静脈分枝閉塞症に対して

名古屋市立大学病院で治療を受けられた方へ

「網膜静脈分枝閉塞症に伴う遷延性黄斑浮腫に対するナビゲーションレーザー（Navilas®）の治療効果」へのご協力をお願い

1 研究の概要

【研究の背景・目的】

網膜静脈分枝閉塞症（BRVO）による視力低下の主な原因は黄斑浮腫であると考えられています。治療の第一選択は抗 VEGF 薬の硝子体内注射です。その中でも、毛細血管瘤を伴う黄斑浮腫は治療抵抗性があると知られております。毛細血管瘤にレーザーで直接凝固をすると黄斑浮腫の遷延化を抑制すると報告があります。また、ナビゲーションレーザー（Navilas®）ではより正確な照射が可能です。この研究の目的は、BRVO に伴う黄斑浮腫に対する Navilas®レーザー治療前後における視力、黄斑浮腫へ与える影響、抗 VEGF 薬硝子体内注射から離脱できるか、良好な視力予後を得るための黄斑浮腫の管理に関しての有用な知見を得ることです。

【研究の対象となる方】

名古屋市立大学病院（当院）を受診した患者さんのうち以下の方を対象にします。
＜網膜静脈分枝閉塞症＞
網膜静脈分枝閉塞症に伴う黄斑浮腫を有し、2014年6月から2022年2月の間に Navilas®レーザー治療を施行され、治療後より少なくとも3か月以上当院で経過観察を受けた方。および、他の網膜疾患を有さない方。

【研究期間】

この研究の実施を許可された日から西暦2026年9月30日までです。

ご自身またはご家族がこの研究の対象者に該当すると思われる方で、ご質問等がある場合は、「7 相談やお問合せがある場合の連絡先」へご連絡ください。また、情報をこの研究に使ってほしくない場合もご連絡ください。その時点であなたの情報を研究対象から取り除きます。ただし、研究の進捗状況によっては、あなたの情報を取り除くことができない場合があります。

この研究は、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会の審査を受け承認されたうえで、研究機関の長から実施の許可を受けています。また、この研究が適正に実施さ

れているか、継続して審査を受けます。

この委員会にかかわる規程等は、以下の Web サイトでご確認いただけます。

【名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター “患者の皆様へ”】

URL : <https://ncu-cr.jp/patient>

2 研究の方法

この研究では、名古屋市立大学（本学）において診療情報を電子カルテから収集し、解析を行います。

3 この研究で用いるあなたの情報の内容について

診療記録から以下の情報を収集します。

- 視力の変化
- 画像検査所見：OCT 画像、蛍光眼底造影検査画像
- 患者背景：年齢、性別、
- 疾患型：虚血型、非虚血型
- 既往歴：糖尿病の有無、高血圧治療の有無、白内障手術の既往
- 既往治療：抗 VEGF 硝子体内注射の既往/回数/薬剤の種類、網膜光凝固治療歴、トリアムシノロンアセトニドテノン嚢下注射歴

4 研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学が単独で実施します。

研究責任者：医学研究科視覚科学 平野 佳男

5 個人情報等の取り扱いについて

あなたの情報は、氏名等の個人を特定する内容を削除し、代わりに符号をつけた状態で取り扱います。また、この研究の成果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、その際も、そこに含まれるデータがあなたのものであると特定されることはありません。

6 この研究の資金源および利益相反について

企業等の関与により研究の公正さが損なわれる可能性がある状態のことを、「利益相反」といいます。企業等から研究資金の提供を受けている場合等には、利益相反を適切に管理する必要があります。

この研究において研究費の発生はなく、企業等からの資金の提供はありません。利益相反の状況については、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。

7 相談やお問合せがある場合の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究の計画について詳しくお知りになりたい場合は、研究に参加している他の方の個人情報や研究の知的財産等に影響しない範囲で、資料をお渡し

したり、お見せしたりすることが可能です。

また、この研究にあなたの情報が利用されることを希望されない場合は、電話によりご連絡ください。

【連絡先】

名古屋市立大学大学院医学研究科 視覚科学

電話番号： 052-853-8251

(対応可能な時間帯) 平日9時から17時まで

対応者： 氏名 平野 佳男